

“はっ”とさせられた『新聞の切り抜き』 ～私の苦い思い出～

生徒指導主事 鎌谷 和則

下記の文章は、今から約 15 年前、私が座る食卓の所に置かれていた新聞の切り抜きです。置いたのは、私の母でした。

子どもの頃に抱きしめられた記憶は、
ひとのこころの、奥のほうの、大切な場所にずっと残っていく。

そうして、その記憶は、優しさや思いやりの大切さを
教えてくれたり、ひとりぼっちじゃないんだって
思わせてくれたり、そこから先は行っちゃいけないよって
止めてくれたり、死んじやいたいくらい切ないときに
支えてくれたりする。

子どもをもっと抱きしめてあげてください。
ちっちゃなこころは、いつも手をのばしています。

当時、私は、富山市の小学校に勤務
していたため、朝は早く、帰りは遅い
日々でした。週末以外、子どもの顔を
見るのは、寝顔ばかり。孫の心中を察
した母が、「子どもをしっかり見てい
るの？自分の子どもだよ。」と、孫に
代わって無言の抗議をしたのだと思
います。

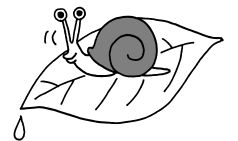
その記事を読み、本当に、「しまっ
た・・・」という気持ちと、「親とし

て失格」という思いでいっぱいでした。あの時のことは、一生忘れられない苦い思い出です。

さすがに、それからは、週末だけではなく、平日にも少しでも早く帰り、我が子とふれ合おうと一生懸命でした。そのことをきっかけに、180度生活を変えることができればかっこよかったのですが、忙しさのため、その努力もそう長くは続きませんでした。

そのかわり、それまでとは、大きく変えることができたことがあります。

それは、休日を子どもと思いきり楽しもうとしたことです。（私なりに、『わが子を抱きしめよう』と考えたのです。）しかし、お金をかけることなく、子どもとどこかへ出かけるということもさほどなく、ただ、田んぼの様子を一緒に見に行き、そこで虫を捕まえたり、クローバーを編んだり、カラスのエンドウで笛を作ったりしました。そのため、息子は、小学校時代には、素手で蛇をつかみ、振り回すやんちゃものとなってしまうことが…。



今、息子は、大学生。息子からは、時々、「お米と水を送って！」という必要最小限のメールが届くぐらいです。結局、私の子育ては、成功したとは言えないようです。しかし、田んぼへ出かけて遊んだことを覚えていてくれるのではないかと、淡い期待感があります。

私にできる範囲で、私流に接してきている子どもへのかかわりのほんの一端を述べました。

世の中には、いろんな子育てがあっていいと思っています。でも、これだけは、忘れてはいけないと思うことがあります。それは、子どもは、親の都合や思いに合わない態度を見せることがあります。絶対に自分のことを見捨てないでほしいと願っているということです。

子どもを見つめること、子どもを育てることは大変なことです。親のしていることが、我が子のためになっているのかは、すぐには分からないことばかりです。でも、あきらめたくないですね。

大切なわが子ですから……。

オーケストラ演奏の魅力に触れて ～4年生

毎年、市内の4年生を対象に行われる「10歳のファーストコンサート」に参加してきました。バイオリンやコントラバス等の弦楽器を中心に、普段は間近で見たり聴いたりすることのできないオーケストラの演奏をすぐ目の前で聴いてきました。



今年は、本校から2人、指揮者体験をさせていただきました。「ラデッキー行進曲」を指揮者（子ども）のタクトを振る速さや強弱に合わせて演奏してくださるオーケストラの皆さんの素敵なこと。同じ曲を演奏しても、指揮者によって随分曲の感じが変わるのだなと感じました。

子ども一人一人がオーケストラ演奏の魅力に触れるとともに、小さな紳士・淑女として公共の場でのマナーや鑑賞態度も学んだ心温まる1時間でした。

綱引き決戦「114」 ～3年生～



の表情も見えましたが、どの子ども威勢のよいかけ声とともに、がんばっていました。全力で取り組んだ3年生でした。

天候に不安がいっぱいの中、運動会が実施されました。3年生は、「全力で競技に取り組んだり、応援したりする。」を目標に運動会の練習や当日の競技に臨みました。団体競技の綱引きは、2つの団の連合軍で綱をひきました。第三試合が終わるまで勝敗が分からないので、気をぬかず戦っていました。各試合、2回戦あるので、6回目の綱引きでは、疲れ



～番外編～

運動会も終わり、息つく暇もなく、全校児童は、スポーツテストに取り組んでいます。テスト種目は、以下の通りです。

- ①50m走 ②ソフトボール投げ ③シャトルラン ④反復横とび ⑤体前屈 ⑥上体起こし ⑦立ち幅跳び ⑧握力

大人から見ると疲れることなのですが、子どもたちは元気いっぱいに、記録が伸びたことに歓声を上げながら取り組んでいます。



一方、今、1年生の教室の横のアサガオが、双葉から本葉をつけ始め、成長真っ盛りです。

登校するとすぐに、水やりをする1年生の愛らしい姿が、あちらこちらで見られます。水やりでぬれた葉が、朝日でキラキラと輝き、とてもまぶしいです。アサガオと共に子どもたちの優しさも大きく成長していってくれることを願うばかりです。来校の際は、1年生が大切に育てているアサガオをご覧になってください。

